

資料10 「日本書紀」の枠組

「書紀」編纂者が史実と考えた天皇*1				「書紀」の天皇*3		
天皇名	遡及年数*2	即位年	歴史の引き延ばし、備考	天皇名	即位年	備考
				1 神武	-660	伝承に基づく創作
				2 綏靖	-581	欠史八代 (創作)
				3 安寧	-548	
				4 懿徳	-510	
				5 孝昭	-475	
				6 孝安	-392	
				7 孝靈	-290	
				8 孝元	-214	
				9 開化	-157	
				10 崇神	-97	
				11 垂仁	-29	
				12 崇行	71	
				13 成務	131	
				14 仲哀 神功皇后	192 201	
10 崇神				15 応神	270	
11 垂仁				16 仁徳	313	
12 崇行				17 履中	400	
13 成務				18 反正	406	
14 仲哀 神功皇后				19 允恭	412	
15 応神				20 安康	454	
16 仁徳				21 雄略	457	
17 履中				22 清寧	480	
18 反正				23 額宗	485	
19 允恭				24 仁賢	488	
20 安康				25 武烈	499	
21 雄略				26 継体	507	
22 清寧				27 安閑	534	
23 額宗				28 宣化	536	
24 仁賢				29 欽明	540	
25 武烈				30 敏達	572	
26 継体				31 用明	586	
27 安閑				32 崇峻	588	
28 宣化				33 推古	593	起点 = 推古九年601
29 欽明				34 舒明	629	
30 敏達				35 皇極	642	
31 用明				36 孝徳	645	
32 崇峻				37 斉明	655	
33 推古				38 天智	662	
34 舒明				(39 弘文)*4	672	
35 皇極				40 天武	672	「書紀」編纂命令681
36 孝徳				41 持統	687	「書紀」巻末
37 斉明						
38 天智						
(39 弘文)*4						
40 天武						
41 持統						

*1 「書紀」編纂者は、「魏志倭人伝」を読み卑弥呼の死 (248頃) のすぐ後にヤマト王権が成立したと考えたと思われる。

考古学的研究によるとヤマト王権の成立は4C初めとされる。継体以降の即位年は概ね確定している。

*2 聖徳太子が起点とした推古九年辛酉 (601) からの遡及年数

*3 尺度は均等でない。空位年は前代に含めた。

*4 第39代弘文天皇 (大友皇子) は「書紀」では認められていない。